第三種郵便物認可（明治三十八年七月二十六日）　明治三十九年二月二日　金曜日　光緒三十二年正月初九日　滿洲日報第百四十八號　（一）

集市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
邊車共來七十餘輛
元寶六吊九百至六吊八百

全
全
全
赤味全
札幌麥酒
蜂印香竄葡萄酒　全　四斤入
全　九舜入
全　十樽
同十一圓
同五圓
同四圓
同九圓三十錢
同九圓八十錢
同二十二圓五十錢

全蒲燒
筍　全
梨　二打半
桃　四打
人形ミルク　全
同二十三圓
同八圓五十錢
同十一圓
同九圓五十錢
同十二圓五十錢

一中等塊炭　全　十五圓五十錢
一全　切込　全　十四圓五十錢
澤鶴　正味四斗四升入　十七圓
サツポロビール　九圓七十錢
（宅合名會社調査）

# 滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送ま人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
*The Manchuria Daily Report Office.*
*Newchwang.*
Telephone No. 29.

告料　一ケ月以内　銀十五仙乃至十仙
一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街
滿洲日報社
（電話二九番）

## 告示

關東總督府
陸軍大將男爵　大島義昌

出示曉諭事照得橫濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異[illegible]元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益已爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其興旺之與旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是橫濱正金銀行玆奉我日本政府允准一面再行發票一面置銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色人民紳商等一体知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸譎之徒謠言惑衆碍難通用以博漁利者一經查出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

## 告示

横濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀貨ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上銀貨同樣ニ使用セラレ流通圓滑ニシテ金融ノ疏通ニ資スル處多大ナリシハ衆ノ已ニ普ネク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和同復シ滿洲ハ玆ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回收セラルヘキヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑アルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮說ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月
關東總督男爵　大島義昌

---

## 三井洋行　倉庫部

●精製白砂糖新入荷物あり

啓者本行開創在中外通商各埠已有年所向辦棉紗棉布火柴煤炭糖麪參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請移玉臨晷荷着

今回倉庫所在地（靑堆子精搗上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

## 宅合名會社

本號開設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行并滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口東兩處自建碼頭能泊輪船二隻棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲便利且有貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一隻名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉賜顧請到小號面議是荷
總司理人　爲亮卿謹白

## ○○○東盛和

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印井一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綢子洋陂鐘表首物俱全而價値尤格外從廉凡貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屈臨爲幸
總司理人　田中賴之助謹白

## ○○○東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

## ○○○西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南豐乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

## ○○○仁裕號

係裝運各物火輪船生意兼賣各制洋什貨擇石等此佈
營口西大廟街路北豐乙第十二號

## ○○○恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己并另設銀爐包銷鋪以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

## ○○○元茂盛

論功實貨元豆豆油豆餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寶總船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北豐乙第四十九號

## ○○○瑞生洋行

商標
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板并有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮海西本行　人啓

## ○○○代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟星象牌（斯達）櫻花牌（捷利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）滿香撲鼻佳美適口而價値極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大佳元探貨庶不致誤謹此廣告

玆爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙然雙鶴牌（隆沽來福）百合花牌（利利）櫻花牌牌（捷利）星象牌（斯達）無論批發零售均格外減價以廣招徠

---

## 特別廣告

## 横濱正金銀行牛莊支店

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話十番　支配人室
電話百八番　事務室

## 淸酒東自慢、白鹿
## 朝日ビール
## 孔雀印平野水、箱根水
## 上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

### 松茂洋行商業部
河岸通（電話五十二番）

## 滿洲日報各地賣捌所
## 滿洲日報廣告取次所

大連市磐岐町三百三十八號
### 日華運輸公司

大連市磐城町四十九番地
### 岡野新聞舖

奉天大南門内景祐宮胡同
### 全泰號

遼陽　遼陽倶樂部
### 谷口今朝太郎

## 森病院

一診察
自午前八時至正午十二時
自午後三時至午後五時

一往診
午後三時より

△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大道しけ子）

院主　森　矯
醫長　鈴木昌平

營口永世街（電話一五五番）

---

## 大日本政府特定
## 官製口付紙捲煙草
## 滿州一手輸入發賣

## 江副洋行

營口永世街

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社
牛莊支店
（電話六十六番）

## ○○○和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

## ○○○田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

## 日本物販賣
## 秋田洋行

營口永世街第一八四號小野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

## 飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不惧再本十新到各種木料東洋炸子眞價實以應各主顧局急之需誠本主人啓

## 今般小賣部を新設し官製刻煙草の小賣を開始致候間不拘多少御買求被下度奉願候

官製紙卷煙草及刻煙草一手販賣
江副洋行

## 雜貨卸商

元神廟口街
## 關東公司雜貨部

## 代理　道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商　瑞記洋行代理人謹啓

東京電報

●兩大將の元帥陞任　海軍大將伊東祐亨陸軍大將野津道貫二氏元帥に陞任せられたり
（以上一月卅一日特別通信員發）

●載澤公一行の渡米　載澤公一行は來る十日頃出發渡米の途に就くべし
（二月一日特別通信員發）

倫敦電報

●丁抹皇帝の御臨終　丁抹國皇帝陛下が病床に就かれしは午後三時三十分にして露國皇太后及びハンス親王殿下御兩名の外他の御家族は御臨終の間に合はざりき官報に據れば同陛下は心臓病の爲めに崩御せられたりと云ふ

●丁國皇位の繼承者　フレデリツキ第八世陛下が丁抹國の皇位に卽かるべき事は今日發表せらるべし
（以上一月三十日發）

●獨國皇帝皇后の會葬　獨國皇帝及皇后の兩陛下は故丁抹國皇帝陛下の葬儀に會せむが爲めにコーペンハーゲンに赴かるべし

●英國皇帝と丁抹皇帝の葬儀　英國皇帝陛下が會葬せらるゝや否やは葬儀の期日次第にて決定せらるべし

●英國議會の開會　英國皇帝エドワード陛下は變式を以て議會を開會せらる
（以上一月三十一日發）

雜報

●我艦隊の遣英說　日英の親交は協約の新成立によりて益々鞏固にせられ更に英國皇甥コンノート親王殿下が親しく高貴の勳章を御携帶我皇に御贈進遊はさるゝに至りて兩國皇室の御友誼は一層の深厚を加へたること勿論にして東西の兩强國が互に誠敬を以て斯く迄に親密の關係を結ふに至れるは誠に歷史ありて以來未曾有の御事と申し奉るへし左れは我皇室に於かせられても英皇の御友情に對せられ答禮の爲め艦隊を英國に御派遣遊はさるへき御內意之れある趣にて來る四五月頃には其運ひに至るへしとぞ承はる

●二大問題と各派　今期議會の二大問題は非常特別税を永久税に變更の法案と減債基金法案となるが憲政本黨總理大隈伯は後者に就ては絕對的反對の聲言を爲し前者に就ては減税の改廢を云爲せしより見れは反對の地位に立つものと判斷すへし政友會にありても加藤外相と同しく減債基金に反對意見を有する者少からす非常特別税に就ては永續税と爲すは是認すへきも全部を是とするにあらすして種々の修正意見を提出せらるへく政友倶樂部は之に對して調査會を組織しつゝあるも大體の意向か反對にあるは殆と疑ひを容れす大同倶樂部に至りては固り一致の意見を以て進退するものにあらさるも二問題共に議論あり就中非常特別税に對しては織物税の如き强硬なる改廢意見を有する者あれは未だ賛否を豫定し難し隨つて今期議會は意外の難關に遭遇すへしと觀察する者あり

●露軍撤退延期とリ將軍　日露講和條約に依り滿洲に於ける彼我兩軍隊は十八ケ月中に撤退すへき規定なるか我邦に於ては其約束を履行する爲め一は多數の軍隊を滿洲に滯陣せしむるの徒らに失費多きを思ひて其後全速力を以て引揚に着手し此三四月頃迄には全部の撤退を了し得べきも露國側に於ては敢て約束不履行の旨意にも非さるべきも陸路大部隊の輸送といひ殊に內亂の爲め其交通機關を阻害せられし爲め輸送上非常の困難を受け翅に條約の期日に於て全部の撤退を行ふ能はさるのみならす期限後と雖も急速に撤退を了すへき見込立たさるを以てリネーヴイチ將軍は此程本國政府に向ひて一ケ年の延期方を請ひたりとの報英京より傳はりたり報にして果して信なるへくは吾人は露國の爲め深く弔せさるを得す

●機關砲隊常備說　今回の日露戰爭に當り機關砲隊は何れの戰鬪に於ても大に効を奏したるが我陸軍には未だ機關砲隊の常設なく去二十七八年戰役に當りて創めて該砲隊を組織したるも一回も之を應用するに至らすして解散し今回も臨時之を組織し平和克復後再ひ解散を命したるか機關砲隊は戰鬪には最も必要なれは陸軍擴張の結果或は常備隊として平時練習することゝなるやも知れすと

●英國の新式巡洋艦　昨年十二月二十五日テンプロークドツクに於て進水せる英國新巡洋艦ワーリヨルは排水量一萬三千五百五十噸、實馬力二萬三千五百、計畫速力二十二節三分の一、長五百五呎三吋、幅七十三呎六吋、平均吃水二十七呎を有し艦の全重量は裝甲板を併せ八千十五噸にして其建造費は約百十萬磅なりといふ本艦はマタル、アンジユース、ホクレーン三姉妹艦と同しく九吋二砲六門及ひ七吋五砲四門を裝置し英國海軍に於て初めて六吋砲を全廢せる一等巡洋艦なりといふ

●載澤殿下御參內　淸國出洋大臣載澤殿下には同副公使楊樞氏及び李盛鐸、尙其亨兩大臣以下高級隨員數名を隨へ接伴員鍋島式部官の先導にて去廿五日午前十一時三十分御參內鳳凰間に於て天皇陛下に御對顏種々の御物語あり正午十二時天皇陛下には千種の間に載仁親王、依仁親王兩殿下を午餐に召され載澤殿下と御會食あり同時に楊淸國公使以下隨員、同公使館員及び德大寺侍從部長、田中宮相、加藤外相同陪侍從武官長に御陪食仰付けられたり

●浦塩の再動亂　在浦塩米國貿易事務官より二十四日發にて在本邦米國公使を經て其筋へ左の電報ありたり
本月廿三日浦塩斯德に暴動起りたるも本日は靜肅なり外國人の生命財產には損害なし

●京漢鐵道の現況　先日より京漢鐵道中黃河鐵橋の修繕出來せるを以て北京漢口間は凡そ三日半にて到達し得れとも近頃此鉄道により漢口より來れる人の話を聞くに列車は上中兩等混合車と三等車とにて成り上等室は唯二個あり無論上等客車は僅少なれば食堂車の設備はなし晝間飮湯はあれども洗面用の水なし（洗面器の備あれども）食事は出發停車場おくは途中の大驛にて饅頭點心等を購入の道あり夜分は汽車の進行を停止するを以て附近の淸國人旅店に赴くには荷物等運搬の面倒あれば之を避けん爲め客車中の腰掛けの上に臥し辛ふじて夢を結ばんとすれば暖室用の瓦罐係りは何れへか去き添炭せざれば發車數時後は室內寒冷となれば四日間の旅行頗る不愉快なり乘客は中央部は甚だ少く正定附近より客車の員數も增加し客數大に加はりたりと尙は此鉄道の發車に就き聞く所によれば來る四月以後は一週一回最急行列車を兩端停車場より發し四十時間にて到着する由

●川崎造船所擴張　神戶の川崎造船所は日露戰役以前より事業の擴張を計り戰役中に於ても帝國艦隊の修繕及び建造に關し何等の支障を生するに至らさりしか戰後艦船の增加と共に事業は益々繁忙を來し其設備を擴張するの必要を感ずるに至りしを以て兵庫運河附近に廣大の地所を買收して分工場內に一萬五千噸の船臺を新造する計畫あり目下新造注文を受け居る艦船三十一隻の多數に上れるを以て現在の資本金四百萬圓を一千萬圓として更に外資一千萬圓を輸入し社債の償還に充つる外新計畫の資に投ずる事に決し不日株主總會の議に附すへしといふ

●樺太民政長官　樺太民政長官熊谷喜一郞氏は碎氷船大禮丸にて去月廿日コルサコフ出帆上京の途につく豫定なりしも大禮丸の修繕に意外の手數を要したるため同長官の出發は本月四五日頃に延期したる旨其筋へ電報ありたり

●郵船の韓國航路　日本郵船會社の韓國航路には更に浦塩丸の一隻を加へ右にて同社の韓國航路はデシコナ瀛船共大阪基點月九回となり神戶基點の韓國經由北洋線を加ふれば韓國へ寄港の同社線は月十五回に及ぶ由因に同社買入の第四オーヨ號は第三仁義丸の解雇に代て元山航路に使用せらるゝ由

●故廣瀨中佐の銅像　昨春以來正濟德川郞氏の手に依り製作中の故廣瀨中佐の銅像今回竣成に付き同中佐第二の故鄕たる飛彈高山に送るため此程東京神田橋外和强樂堂に於て奉送式を舉行し東鄕大將肝村中將廣瀨大佐（勝比古）等參列したり

●釋宗演禪師の世界漫遊　昨春來米國桑港なる豪商ルツセル氏の別莊に滯在布敎中なる元鎌倉圓覺寺管長釋宗演禪師は本月頃桑港出發シカゴに赴き同地大學哲學敎授クーラス博士を訪問し三月より歐洲各國の宗敎諸大家を歷訪の上本年八九月頃歸朝し東京谷中附近に一の專門道場を設くる決心なりと

●李容翊危難原因　露都にて遭難の報ありし李容翊は客年九月或る使命を帶び窃に本國を發し伯林を巡て露都に赴きたるものなるが兇行を受けたる原因につき某消息通は彼は元來吝嗇にして他を遇すること苛酷なるため通譯の不平を惹起したるものならんといへり

●服色勵行の愚　韓廷は曩に發表せし服色改正の勵行に着手し白衣を着するものに對し巡檢之を捕へて紺色の二字を其白衣に書し以て服色の變更を嚴戒する等の事あるより下層の貧民は殊に陰曆の歲末に際し困難の摸樣あり

●帝國ホテルの擴張　帝國ホテルは其資金を七十五万圓に增加し百室を有する一等ホテルを建築する事となり支配人エミール、フレイグ氏は近日歐米旅館視察の途に上る由尙上記の新建物竣工の上は目下の帝國ホテルは其支店とする事となりといふ

●激戰地模型　南山旅順口の兩役は日露戰爭中の大激戰なるを以て陸軍省に於て特に寫眞班部を設け同部員をして調査の上激戰地の五千分の一の模型を製作せしむる事と爲り木村某之を擔當して目下南山の方を作製中なるが落成の上は參謀本部に備へ置きて永世の參考に供すへき筈なりと

▲不老藥としての腐乳　露國の博物學者メチニコフ敎授は酸敗したる牛乳を以て人間の長壽を保たしむるに特効あるものとして近頃其の說を發表せり氏の說は人間の老朽も結局或る黴菌の作用に過ぎず此の黴菌に勝つべき黴菌を服用すれば自からにして老朽を免るゝを得べしと云ふにあり酸敗したる牛乳を飮むに慣れたるブリガリア人の多く長壽なるを見て一種の證據として發見するに至りたるなりと

●湯崗子溫泉　遼陽より南方汽車程二時間にして鞍山店附近に湯崗子溫泉あり露人が滿洲占領中は極東駐屯軍の湯治所として五個の大家屋を建築し設備略緒に就かんとして開戰と爲りしも今尙汽車中より白堊の瓦屋を望むへく戰爭中と雖も我傷病兵の來りて入浴する者ありしが今回邦人某氏の手に依り完全なる溫泉場と爲すに決定せし由にて多分四月迄には夫々設備整ふへしといふ因に該鑛泉の効能は主として胃弱、リウマチス、神經痛、子宮病等に適當せりといふ

●新民府零信　從來新民府に於ては藝妓酌婦の人數に制限を設け其餘の入來を禁止し居たる所去る一月二十八日限り解禁し自由營業を許可したり又同二十九、三十の兩日には衞生局に於て當府在留邦人二百餘名に對して種痘を施行せり（一月三十一日報）

●橫濱芝罘秦皇島間航路　從來冬季結氷中の北淸航路としては秦皇島より芝罘に出更に神戶に至るものゝみなりしが今回日本郵船會社はウルプ號及びスリヲラムスダツト號の兩船を使用して橫濱芝罘間の航路を開始するよしなれば旅行者は幾層の便利を得べし尙秦皇島より芝罘に至る航路は礦務局及び仁義洋行等の瀛船一週間に一二回宛航通し居れば便乘するを得べく同地より芝罘迄の運賃は一等二十一圓四十三錢二等拾四圓二十九錢なりと云ふ

●營口の土人と訴訟　營口に於て長く司法事務に從事せし某氏の談に曰く一体に土人は訴訟を好まさるの風あり之れ訴訟を好まさるに非ず後患を恐るゝ也淸國の如き重憲の薄弱微力なる所に於て土人が斯の如く將來を恐れて訴訟を憚るは蓋し人情の自然乎我軍の露兵を放逐し營口に治安を維持するに及びても土人は尙は且つ深く後患を恐れて訴訟を避くるの弊風を存し自ら進みて訴ふる所あらさるのみならず出頭を命じ尋問するに當りても動もすれば事實を陰蔽せんとせり其の後ち我か官憲の嚴然復た犯す可らず萬一虛欺の申立を爲すに於ては假借なく處罰すると同時に加害者は飽く迄懲戒し被害者は飽く迄保護するの事實を知に及びて漸く安堵する所あり宿弊少しく改まりしも然かも尙は一般に後患を恐れて頗る訴訟を憚るの風あるは實に土人の爲に甚だ悲まさるを得ず茲に奇なるは一般の傾向斯の如くなるに更に一方に於ては無實の申立て甚だ少からず卽ち土人を裁判するに於ては殊に愼重の注意を以て臨むにありされば誤りて無辜を罪するの恐れあり被害の事實ある者は槪して被害の事實なしと主張し被害の事實無き者往々にして被害を告訴するは實に土人間の惡弊にして蓋し司直の最も苦む所也云々更に某氏は被害の種類に付て說て曰く最も多きは窃盜にして次は詐欺也若し夫れ毆打の如き寔に寥々數ふるに過ぎず云々

●昨今の旅行者　軍政署の調査に依れは昨今の旅行者は每日約七十人にして最も多きは依然として奉天行旅客にて其數十四五名乃至二十名に達す次に大連行にて又た每日十二三名宛あり更に之に次くを遼陽鐵嶺及び撫順行となすも其の人員は日々の不動甚しく計算すへからさるも平均七八名はあり

●諸品の競賣　本紙公示欄にある如く來る十日午前第十一時（日本時間）牛家屯兵站司令部に於て諸品の競賣をなす由現品縱覽希望の人は牛家屯縫靴工班に就て見るへしとなり

●江副洋行の小賣部開設　同洋行にては小賣部を開設し福壽草白梅さつきあやめもみぢ等官製刻煙草の小賣を開始したり

●營口病院を觀る　花柳界の悲境に沈倫しつゝあるは昨紙其槪略を報道せしが今其不景氣の上塗りとも云ふへきは藝妓仲居等が諸種の病魔に罹り昨今入院患者無慮二十名の多きに達し就中金城日本の如きは五六名の入院者ある事にて各樓とも今更ながら閉口頓首の有樣を耳にしたれば記者は彼等入院患者が如何にして病を養ひ如何にして日を送りつゝあるか今其現狀を觀察するも無益にあらず否大に參考にもならんと昨日同院を訪づれし一班を左に紹介せん

▲刺を通じて橫山主任醫師に面會を求めたれば直樣氏の居室に導かれ初見參の挨拶をなす其溫厚なる顏色は自から婦人科醫の風貌を具へ至極婦人には適當の樣思はれたり其談に依れば現在當院に勤務しつゝある人員は橫山主任醫師の外に藥局係兼報告係二名助手兼會計一名細菌檢査係一名看護婦三名都合八名にして凡べて鈴木軍醫監督の下に從事せりと

▲入院患者の多き原因は當地に來る者は是迄內地に於ても大底は女郞屋又は料理屋等に從事せる者にて內地より輸入せしと云ふも過言にあらず當地にての發病者は至つて稀なり病名は十中八九迄は子宮頸管加答兒にて何れも慢性にて其病源は主に腐敗黴菌より發するものとす目下眞正の梅毒患者は甚だ稀なり

▲現在入院患者は日本婦人四十八名支那婦人五名なり之を各店に分かてば金城館五人初音三人松月三人第三樓三人春帆一人木村一人玉の屋二人万梅一人祇園　人大吉二人楠屋一人菊の家一人廣田や一人日の丸館一人彌生一人紀の國三人長崎屋一人万なとし二人二葉亭一人日本館四人醉花園一人三日月一人春日屋一人等なり

▲病室は總へて五棟にして室の大小に依り五七人十人と區別しストーブは寒暖を計り尙一室每に看護室ありて應急の手當をなし其上に事務員をして晝夜十二三回各病室を巡視せしめ面會者の猥りに立入る者又は諸品の販賣をなす者火の用心等の注意をなせりと

▲食物は一人一日白米六合と副食物費二十一錢六厘の官給となり朝は味噌汁及び玉子一個晝晩は牛肉鷄肉豚等交々給與せらるゝ由にて尙風呂の設備ありて隔日に入浴を許され實に注意周到なる待遇を受くと云ふ

●軍政署を朋輩と思ふ女　幾等無敎育の情なき千枚張の面とは言へ頓馬な女もあれはある者現時西北街末廣亭事桑原ウメ方仲居大阪府下堺生れの中田タツ（廿二）は內地に歸らん爲め昨日軍政署に至り大連行の旅行券を受けんとて受付に願書を差出し何に思ひけん肩掛を首に卷き下駄を履きたる儘ツカ／＼と庶務室內に入り、御免ヤス早く下げてをくんなはれ、と丸で朋輩に物事を依賴するが如き口調を以て述へたるに係官は呆氣にとられ暫し言葉も無かりしが軈て一發大目玉を喰はせしに眞面目な婦人なれば大に赤面して罷り下がる筈なれども流石娼賣柄平氣の平左で反對にソヲダツテ受付に居れば中々暇がかゝりますサカイと倍々ベラ／＼饒舌りだすりと女も斯うなれば滿洲は愚か露西亞の都迄遠征を試むも大丈夫なり呵々

●藝妓仲居周易判斷　朴捻老

休業のお斷

御當地御姐上御一同倍々御娼業御繁昌の由大慶至極に奉存候扨て愚老儀昨冬以來遼陽奉天の諸姉より是非一度罷出と矢の如き御催促を受け一時は老の身旅稼迄致すも如何と存御斷り申候處其後態々飛脚を以て是非にとの御依賴に止むを得ず出張致し當地諸姉の御愛顧に背き何ともお詫の申上樣無之誠に恐縮の至りに存候漸く昨日歸營從前通り開業仕候間尙舊に倍し御贔負を賜れかし頓首百拜

●でたらめ草　自分は元來ボンヤリした方だが嘗て或處で藝妓と娼妓との區別を尋ねて一座の物笑ひと爲つた事がある併し營口に來て見ると何うも前きの質問が全くの迂濶でも無いやうな氣持がする（△△生）

汽車

▲上行車時刻表

| 車站名 | 開午點分 | 到午點分 |
|---|---|---|
| 新民屯至溝帮子 | 上六、〇〇 | 上九、五七 |
| 營口至山海關 | 上八、二〇 | 下六、〇〇 |
| 山海關至唐山 | 上十二、一八 | 下六、二〇 |

▲下行車時刻表

| 車站名 | 開午點分 | 到午點分 |
|---|---|---|
| 北京至山海關 | 上八、〇〇 | 下六、二〇 |
| 北京至天津 | 上一一、二〇 | 下五、四一 |

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表
大連奉天間下り列車

| 驛名 | 發着 | 時刻 |
|---|---|---|
| 大連 | 發午前 | 九、〇〇 |

| 驛名 | 發着 | 時刻 | 發着 | 時刻 |
|---|---|---|---|---|
| 遼陽 | 着午後 | 三、五〇 | 發 | 四、五五 |
| 大石橋 | 着 | 一〇、三二 | 發 | 一一、三五 |
| 金州 | 着午前 | 二、二〇 | 發 | 三、一〇 |

大連營口線　上り列車

| 驛名 | 發着 | 時刻 |
|---|---|---|
| 旅順 | 發午後 | 二、〇三 |
| 大連 | 着 | 五、三二 |

下り列車

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

## ●戰時海上輸送の進步

日露戰役の大捷素より種々の原因に由る可しと雖も海上輸送の割合に正確にして且敏速なりし事も亦決して等閑に附す可からす而も他の事業に比へて世人の注意を惹く事案外少きやの感なき能はす海上輸送の最も困難を感するは船舶噸數の寡少にして不揃なるに在り日淸戰役當時の不完全なりし事は言はすもあれ彼の南亞戰爭の際に於ても英國政府か彼阿、キャナード、ホアイトスターの如き大會社の飛脚船を徵集せすして荷船を重に用ひたる結果英國としては多少不行屆の點なきに非さりし然るに今回の戰役に當つては政府か御用船として借上けたる船舶は商船、郵船會社の所有船共孰れも割合に均等なるを得て作戰計畫の上に尠からさる功果を呈したるか殊に其の內六千噸以上のもの十七八隻ありて（東洋汽船の海軍專用となり居れる三隻を除きて）此等は總て郵船會社の所有に屬し日淸戰役以後歐米航路の開始と共に其の必要に應して建造若くは購入せしものなれは略同形にして速力も亦均等なり此等は容易に戰鬪單位即ち一大隊以上を輸送し得るか故に大部隊を一時に發送し毫も混雜を來す事なかりしは作戰計畫上隨時の補充を給與せしのみならす凱旋に當ては引揚時日を短縮せしめて本年六月頃に終了すへかりし軍隊輸送は三月頃迄には總てを歸還せしめ得る迄に進捗せり此の如き海上輸送の進步は唯に非常の場合のみならす平時に於ても亦官民共に留意して國家經濟の爲に招致せしめさる可からさる要務なりとす

## ●安永東之助君の陣沒

嗚呼哀哉、畏友安永東之助君は遂に陣歿せり、君は筑前の國、福岡の人にして玄洋社の出身なり、容貌魁偉にして眼光烱々、風姿堂々、として音吐朗々、膂力人に秀で頭腦亦た明晢也君の如き即ち所謂英雄の資質乎、幼少夙に國を憂ひ、十有餘歲早く既に一隊の壯士を指揮して政海に馳驅し、驍名四隣に嘖々たり、次て韓國に天祐俠を援助せんとし先輩の止る所となり纔に巳む而して、愈々長するに及ひては、或は西比利亞を視察し、或は滿洲を踏破す、抱負蓋し尋常に非すと謂ふ可し、

天資已に英雄也、而して其の行動も復た宛乎として英雄の行動也、且つ其の志望歲月と共に益々遠大となる、是天君し借すに十年を以てせんか、撥亂反正、天下の耳目を聳動するの大業、或は君に依て以て成るあらん、恨むへし中道に於て即ち不歸の客となる、余は岡山縣の人、初て君を識りたるは數年の以前、余か白河鯉洋氏の後を襲ひ九州日報に執筆したるの時に在り、當時君も曾々、福岡に歸臥し、吾黨の爲に客員を以て日報に執筆す、初て君を觀たるの余は、心中に以爲らく、武の人にして文の人にあらさらん、腕の人にして辨の人にあらさらん、何んぞ料らん、一度机に面するや、千言一時に成り、一朝起ちて演擅に望むや、滔々万言復た盡きざるを知らす其文や雄壯にして其辨や懸河也、即ち君は武の人たると共に、文の人にして文の人たると共に復た辨の人にてありたるなり、嘗て一日君と酌み叙けて曰く余は最初君と相會して寔に斯々に觀取し轉た今ま自ら其の不分明を悔ひつゝありと君即ち莞爾として答へす、夫れ知り易からさる者は人物の觀察乎、余は洵に君に依つて深く其の不明を後悔し、爾來復た他人に對し輕卒に臆斷せす、而して君に向ひては畏友として常に滿腹の敬意を拂ふて交りたり、余の福岡に在り、社內に於ても、社外に於ても、失態を觀る無くして止みたるは、君か復た克く余を誘掖し示導したるの賜なり、君は余の畏友にて同時に恩人たりき、而して今や即ち亡し、

余か日報に在る一年有半、社長に慊焉たらさる者あり、憤然として辭職せんとするや、君深く余を止め暫く時機の待つ可きを以て諭す、余は元と一コクの質也畏友の斯の言倘ほ從ふ能はす終に決心を斷行し故山に歸臥す、時に東亞の風雲暗憺也、君更に余を鄕里に奪はんとして、書報の依賴を受け、時々居村に於て論文を寄送せり、於是答ふるに先づ此の事を以てし、鄕里に在るも相應の氣炎を持續せるを告け、倂に當時に於ける胸中の覺悟を表白して厚意を謝絕す、君即ち三度書を寄せて曰く「近況を詳悉し、心中甚た安堵せり、足下の覺悟、僕に於ては寧ろ贊成也、而して僕も亦た覺悟を有す、終に天の物たるか、地の物たるか今に於て知る者は、唯た神ならん、足下請ふ自愛せよ」

嗚呼君は當時に於て心中既に今日を豫期したるか、余の所謂覺悟は平凡の覺悟也き君の所謂覺悟は崇高の覺悟也、平凡の覺悟を持つ者は逃べて自若たり、崇高の覺悟を持する者は秘して語らす、共に男子にして異る所斯の如し、半宵回顧して當年に及ふに余は實に冷汗の衣を霑すを覺る也、然り而して平凡の余は依然として頑健に、崇高の君は猝然として遠逝す、抑も神意とは斯の如き者乎、咄、神意畢竟何物そ、

君の覺悟の報道は實に君か余に對する最終の書信也、爾來茲に幾春秋、花の朝、月の夕、君を慕ふの念は嘗て一日と雖も余か心胸を去りたる無きも亦た通信の好機非す恨を呑んで無音遂に今日に及へり而して今日は終に永遠となれり、今將た觀歎意中を披瀝して叩頭疎遠を陳謝せんとするも幽明地を距てゝ復た能はす、

的野半介君は君と同しく福岡縣の人にして、又た君と同しく余か敬すへき長友也、數日前、大連の歸途、余を豊濟門街に叩けり、余即ち就て君の近況を問ふ、君愁然として曰く、

青年英雄は終に陣歿せり先是余は君の花田中佐の部下に在り或る任務に服し殊勳を奏したる一再に非すと雖も心身は唯た益々强健なりと風聞し心中頗る喜悅を覺へたり、

而して的野君は今ま青年英雄の陣歿を傳ふ、青年英雄とは問はすして君を指すの語たるや明也、余豈に愕然たらさる無きを得んや、驚き更に問ふて曰く「眞に然かるか何處に於て、如何にして、請ふ語るに其の詳細を以てせよ的」野君悄然として說明して曰く

君は花田中佐と共に滿洲軍總司令部に從ひ凱旋すへき豫定なりしかと事情あり獨り通化に殘留する事となれるか會々利源調查委員の一行の又た通化を訪ふ在り君に會ふて頻に乞ふに東道の主人たらん事を以てす、君は嘗て金鑛に付て調查せし事あり即ち快諾し自ら鑛山部の調查委員を導き東西に馳驅して甚た其の便利を與ふ斯て調查も一應終了し委員等と共に歸途の際、會々淸兵の馬賊を征討するに遭遇す先是君は特別任務に復して馬賊には面識ある者少からす即ち萬一を顧慮して試に遠く之を望むに果して面識あり且つ征露に於て我軍に貢献する所少からさりし馬賊也、於是君は袖手傍觀するに忍ひす急步數丁、遙に帽を振りて淸兵に射擊の猶豫を請ふ、蓋し君は馬賊に說諭を加へ以て官兵たらしめんとせしなり淸兵即ち應せす反つて君に酬ゆるに一發を以てす而して彈丸は君の左額より頭部を貫通し恨むへし君は遂に其場に倒れたり

露兵の銃砲は國家の爲に寧ろ君の甘受する所淸兵の銃彈豈に君の豫期する所ならんや、且つ夫れ戰時に於て倒れす平時に於て倒る、我は實に悲憤に禁へす、

漸く語て茲に及ふや、君遂に淚を呑み次て語る能はす、余も亦た泣く己にして君又謂ふて曰く

雨の夜、月の夕、思ふて嘗て忘れす　切に再會を待ち、未た得す幸に同縣の知友に會合し宛も天の賜の如く覺へ、其の近況を問へは其人即ち愁然として陣歿を報す天下豫期に反する者多しと雖も豈復た斯の如き甚しき者あらんや況んや君の陣歿、亦た甚た君の志に違ふに於て將た何を以てか慰籍せんや嗚呼復た謂ふ能はす。夫れ君は武の人にして復た文の人也、勇の人にして復た智の人也、筆の人にして復た辨の人也、意の人にして復た情の人也、爭亂に處して以て大業を成就すへく靜に處して以て大名を發揚すへし、未た年少、廣く社會に知れす、深く社會に任せられす、即ち精腦辣腕未た以て社會に試る能はす蕩然として中道に遠逝す蓋し復た國家の一大不幸也嗚呼哀哉、

明治三十有九年二月　於營口　藏內正太郎泣識

輓古內古堂　長谷川黄山

三十九年忽拂塵。白衣今日上青旻。中原逐鹿曾蹉跌。異域屠龍亦潰淪。鳥囀籠間空隔世。花披盆底獨成春。死牛畢竟隳天叙。失意如君有幾人。（自註翠焉）

横戈兩歲滯皇都。禹域山河夢裏趨。日夕望雲空臥病。春秋擲富忽摧珠。一身大志無由暢。滿腹經綸奈不須。詩唱酒酬陳迹遠。半窓風雪與誰俱。

一別相期酒再斟。豈知忽作絕絃琴。西窓剪燭當年夢。下界塵詩今日心。脚底江山依舊在。眼中邱壑與誰尋。風流更古人無影。籠鳥對花空好音。

君今棄我去漫漫。白玉樓中駕翠鸞。筆挾雲烟龍舞踊。詩成咳唾玉琅玕。恐山逢水遊蹤滅。長驛短亭題壁殘。鶴子梅妻何似感。一痕素月上空欄

雁帶訃音從故山。夜空嘿坐淚斕斑。丰姿髣髴香烟外。鬢髮髣髴眉睫間。十載心交如夢破。百年恨事向誰頒。蓬萊未躡闇幽約。君獨與淞去不還。（自註、往年君曾期。與河野峻岳及余。探勝於蓬萊巖。不熟而止七八故云）


廣告

**公示**

一、厚皮燒屑　二十貫匁
一、短靴燒屑　二十組
一、冬繻袢袴下燒屑　四百貫匁
一、カタン糸燒屑　三百個
一、羅紗燒屑　五十貫匁
一、燒屑鐵具類　三十貫匁

右明治三十九年二月十日午前十一時牛家屯兵站司令部に於て競賣ス依テ本日ヨリ現品ノ縱覽ヲ許ス牛家屯縫靴工班ニ付テ見ルヘシ

明治三十九年二月一日

**營口兵站司令部**

**募集公告**

當局電話交換手募集す志願の者は(日本人にして年齡十六歲より二十五歲まで視聽力完全身体健康なるもの)自筆履歷書携帶當局へ出願す可し

**營口軍政署電話局**

傭技手 **小里智三郎**

右の者當組勤務中事務の引繼を了せず自儘に立去り居所不分明に付解傭致候條以後當組に何等の關係無之者に付此段廣告候也

遼陽 **有馬組支配部**

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

**御料理 滿月** 平野町一八二(電話一六二)

**御料理 滿月支店** 平野町(元都樓跡)

今般內地より撰り拔きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候

店主 青木勝憲

**謹告**

昨年八月下旬營口秋田組閉鎖以後韓國の事業に着手致居り遼東北淸地方の營業は一切不仕從而店員等派遣致候事無之處頃日秋田組或に秋田商會の社員と稱し各地徘徊不正の行爲なすもの有之由聞及候得共弊商會には全く關係無之候に付此段爲念謹告仕置候也

明治三十九年一月

韓國仁川 合資會社 **秋田商會** 代表社員 **秋田毅**

**廣告**

一本社は滿洲及蒙古の事情を日本各地の新聞社通信社及團体若くは個人に通報し又日本の政治經濟社會上の狀態を滿洲各地に於ける團体若くは個人に通報するを以て目的とす

一本社は今般東京通信社と特約し最も敏速なる電報通信を以て帝國議會の情勢及諸般の出來事を報道せしむ在住邦人にして電報通信を購讀せんと欲する御方は至急御申込みあれ

元神廟街四十四 **滿洲通信社**

一關內外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

**大淸通運公司 營口支店**

**廣告**

右自今關係無之候也

宅合名會社 **松澤秀男**

**營口支店**

**西海洋服店**

歐米各國最新流行形

永世街一四一(森病院三軒目)

(電話百二十七號)

**藝妓仲居新來御披露**

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候 草々

營口 **高砂ホテル** (電話一四五)

**特別室落成披露**

座敷は凡て日本式取扱主極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

**金城ホテル 旅館部**

**藝妓仲居新來披露**

今回藝妓仲居無類の別嬪數十名伴れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粹の江戸っ子

**金城館料理部**

**慶樂温泉**

淸水滾々湧出

永世街一力南側

**會席料理 三日月**

營口警務課前小路へ入る

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

浅田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風痰飲小兒風疹病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかせ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

澤亀之醇良なる風味を賞せよ

並ニ 札幌ビール 朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 鑵詰色々
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元

宅合名會社
本店 大阪府堺市九間町
小樽支店 北海道小樽湊町
臺北支店 臺灣臺北街書院
基隆支店 臺灣基隆街石牌
臺南支店 臺灣臺南街下南河
函館出張店 北海道函館區辨天町
遼陽出張店 清國遼陽城內西街
大連出張店 清國大連靈部
營口支店 清國牛莊營口東營口

東營口郵便局東隣
島田洋服店
新民屯停車場前
同支店

寫眞 永清
奉天府 大南門裡路西

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

酒保品 諸雜貨 卸商
神崎洋行
營口永世街甲百廿七號 警務課前
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强

正札 特別廉價
雜貨 賣出し
一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋
永世街森病院隣
和清洋行
志田ます

御旅館
奉天 茂林館
小西邊門内路北
日本物品依托賣買幷ニ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ
追テ
家屋宏壯接待優遇

發賣 標子 木板 料木
營口青堆子
清水寧木局

大日本帝國醫科大學模範藥局特用酒
攝津灘石崎合資會社釀造
澤之鶴
醇良清酒
滿洲特約大販賣
周
裕和盛號支店
清國營口西北街
電話八十一番

裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

裕和盛本支店所在地
○本日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘、旅順、鐵嶺、
○支店韓國京城、仁川、木浦、

裕和盛は清商中日本通の張本
澤之鶴は既に定ある天美錄

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田彙次郎
（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需應にず
即席和洋料理 東京樓支店
（電話四十四番）

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放全時ニ開業
奉天小西門外大街路北

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町
日本館本店
（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町
日本館支店
各位樣

御旅館兼待合所
並に うどん、そば
今般大々的勉強を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前
若松家
各位樣

時刻

山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
塘沽至北京　上六、〇〇　下二、〇六
唐山至天津　上六、一二　上一一、二八

溝邦子至新民　上三、〇〇　下六、五七
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
天津至山海關　上六、二五　下六、二一

大連發　午前七、三〇　奉天着　午前一〇、四九
奉天發　午後二、〇六
營口發　午前七、二〇
大石橋發　午後一〇、二五　着翌午前一二、二〇

豫報

昨日の氣溫

昨日の最高溫度零下六度二　最低溫度九度七
昨年との比　高ナ三九　高キ五度六

論說

# 論用兵

兵隊者。現今世界國家之一大原動力也。用之獨立。爲與國之第一義。堅其質性。爲防國之最利器。不此之務。而緦緦然假歸馬放牛卸甲包戈之說。謂兵爲凶器。不必過用其講求。吾恐軍事不修。凡一切經營。有不克恣肆縱橫大張其勢力範圍者。雖有畢士馬克。無所用其外交手段。雖有張伯倫。無所用其殖民政策。雖有麥荊來。無所用其帝國主義。是故二代以上諱言兵。好兵者國必受禍。交通以後競言兵。有兵者國始受福。雖然。兵律不嚴。猶亂兵也。兵政不備。猶缺兵也。近者列强環伺。變故屢經。各營軍制類莫不改良其資格。步伐整齊。槪從西法。器械堅利。多購新機。亦謂我兵隊之組織。百不如人。遂不惜盡棄其固有之良法美意。而一步一趨。惟恐不畢肖其形似者。吾得一言以斷之曰。是知人而不知己。知今而不知古。西人重兵事。馬步礮工輜。罔不切實考求。不容偏廢。如英法德美日俄諸國。其措置之善。操練之工。久已嘖嘖人口。而不知淮南子兵略訓所言五官。與西法暗相吻合。明去取之方。審輕重之勢。求通變之才。務眞實之用。正可以自强不待外求也。至於薈萃西法。則惟日以尊君親上之事。誥誡殷勤。使之諷詠浸淫。淪筋浹髓。將必有犧牲其血肉之軀。爲國家作城壁作堡衞者。西人之所恃而强者以此。吾之所以取侮者正以未有此也。兵法有之。攻心爲上。攻城爲下。心定矣。雖大敵而不搖。雖匹夫而有守。固不難出其至仁至孝之堅忍特性。樹號之國家於全球之上也。而行陣器具諸新法。皆我國人素所優爲。不必斤斤於其際也。願以告天下之留心兵事者。

## 中外要聞

●將軍查出紅册之地　聞奉天將軍趙次帥奏稱盛京所屬原納紅册之地今查出餘地除復州金州鳳凰城原徵粟米及盛京之倉應徵草豆每年供應　三陵祭祀牲牢動用前已奉　旨草豆毋庸改徵外其餘熊岳岫巖蓋州等處並無支用草豆飭令改徵粟米開原遼陽錦州義州寧遠等處除撥給各處站草四萬四千九百餘束外其餘均改徵粟米每豆一斗改粟米一升草一束改粟米五合永爲定例云云

●官廳風紀紊亂　聞京都南營西河汎官廳於正月初二日該坐廳官王千總恒各巡緝同場聚賭當經南營參戎曾崇蔭親見一併申飭復經票傳守備李濤即赴參署有面　事件未知如何面諭云云

●奉安鐵路工費　奉安鐵路即從安東縣起至奉天府間之鐵路現經由陸軍省興築小軌寬二英尺五寸之機關式刻已往還運轉道程約二百英里內外其東南端可從安東縣街接京義鐵路西北一端可由經新民屯聯絡關外鐵路直接畿輔要地將來生意旺興在意料中至所要工費則日本陸軍省由臨時軍費籌撥故雖未經聲明然據專門工程師所估計大約可需二千萬圓云

●聖駕還海　昨聞內廷傳云　皇太后　皇上於本月十一由宮還海駐蹕以便看放烟火竿子並放花盒各色洋花及西洋水法花燈以備　御覽

●俄商拐走洋元　聞宣武門內西單牌樓福和祥洋貨店舖東胡晉卿曾與俄國某商人購辦洋貨當被俄商拐走洋元五千餘塊於去歲月杪胡某在外務部控告未能允准又稟本號賬目虧累前已歇業關閉頃聞于開印期赴步軍統領衙門具呈以便轉詳外務部傳訊云云

●政府擬定飭州縣各官　聞政府定擬各省凡州縣虧空錢粮者總不出侵盜挪移兩項現在議定飭州縣各官于到任時則先簡選殷實老成吏胥以充錢粮總吏通詳報部凡徵收錢粮即令隨徵報解不得存留內署承辦五年該縣無虧空者即將總吏咨部獎叙若本官少有虧空該吏自行禀阻如不聽從徑赴院司呈明若吏不行禀阻即將本吏一同監追治罪以免擅動國帑而杜絕虧空錢粮云云

●吉林派官紳留學　外務部咨駐日楊星使云爲吉林將軍咨稱爲吉林興辦學堂師資缺乏特選官紳裕康李樹恩等十八名委同知繼元帶領前往日本學習政治速成各科以備學成任用等因爲此咨由貴大臣該員等到東希妥爲照料云

●馬宮保調補黑龍江將軍之消息　聞中日續約東三省急須添練新軍當道以馬景山宮保將兵多年擬界黑龍江將軍之任俾幫同趙次帥訓練新軍而所遺古北口提督一缺則以山東陸軍第五鎭統制正任天津鎭吳鎭軍長純署理未識確否

●電請催籌經費　聞盛京將軍趙次帥電致政府略云現在奉省治理一切需欵甚殷務請電催單開各省督撫迅將續認經費銀兩趕速籌解以應急需

●奏設哈爾濱關道　黑龍江程署將軍因東三省開放奏設哈爾濱關道並保候補知府桂學濂署理聞可望准

●刑法之改良　修律伍沈兩侍郎奏請嗣後斬決人犯改在彰儀門外萬人坑行刑聞已奉　旨依議又聞擬請將斬決改用機器絞決改用電氣不日亦將具奏矣

●擬設立南北鐵路會議所　聞商部提議以日前各省均請自辦鐵路然使軌道不相連屬此省築路通至彼省邊界而彼省鐵路並不相接或雖擬相接而建築遲速不同以及延用洋員薪資收取客貨價值種種關係路政之事章程各異則將來不便之處必多因擬咨行各省從速會商於滬漢等處適中之地設立南北鐵路會議所以便各省辦理鐵路人員每年訂期聚議並可隨時函商以期接洽而免參差不日通咨各省照辦並聞此議係發端於唐紹儀云

●釐金未能遽裁　英國公使照會外務部請照華英新訂通商條約辦理早日將各省釐金裁撤以維持中外一切商業聞政府目下以釐金爲國中歲入之大宗按每年歲額約有三千萬兩今若遽行裁撤則財政上必大受窘迫各樞臣終未能即照覆英公使也

●擬推廣蒙古鹽務　蒙地向產青鹽銷行甚廣長城以北直接俄境東西萬里大半爲蒙鹽銷行之地政府向不顧問壬寅年由張家口商人請辦督銷每石抽釐三分歲繳餉三萬兩試辦一年獲利甚豐聞上年徵收至四十餘萬現有某觀察奉北洋委查蒙古情形回京條陳此舉擬將鹽務收回官辦竭力擴充約計每年至少可籌欵二百萬兩聞已奉飭妥議章程禀請核辦矣

●銅元奉官折扣　直隸通用銅元除天津北京外不但外州縣私行折扣即保定府已不能盡按當十行使因此籌款局既曉示不用銅元於前而長蘆鹽商又呈請折扣定價於後兩事均蒙直督允行是銅元折扣業已奉官出爾反爾信用盡失欲商民行用無碍不亦難哉

●催俄使派員收槍砲　伊犁將軍日前來言當日俄開仗之時德商運俄槍砲曾遵中立條例將其拘留今日俄已和應催俄使電彼政府速派俄員前來收回槍砲等語

## 雜報

●軌輪軋斃站役　昨聞由新民屯來人云該處車站有掛車鈎之役張姓者係裏省人氏乃於年前臘月二十九日時掛車鈎忙迫被鈎抓住衣袖急不得脫而車行拽踣竟被車輪橫軋身斷而斃見者無不慘然

●軌車得利　昨聞河北榆營鐵軌某站吏云去歲合計終年所得軌車力銀除却一切工費淨剩庫平銀八百萬兩此乃公餘正項若私下諸弊等銀統而計之較公尤多云云

●沿查軌站　昨聞河北人云有鐵路總辦西人名卡拉氏前日由天津出關沿查榆營鐵軌一切事宜每至站處必留名帖極其溫恭云

## 叢談

●急智避禍　勒方錡做京官時和某公子同作狎邪遊那時查禁正嚴有一天勒和某正在行院忽聽見人聲嘈雜知差進門來查拿勒本來學過拳棒的即縱體向天棚架上一躍跑了其公子著了慌跑又跑不掉朶又朶不開正急得要死忽心生一計趕緊把身上的華服全行脫去跑進廚房拿廚子的油圍裙向身上一穿双手在飯鍋上使勁磨了兩手鍋灰向自己臉上左右開弓擦得漆麻烏黑又把辮子繞成了一個圓球形雙手端著一鍋穢水在人堆中大聲搖喝道借光借光差人一見項油的一鍋臟水各人都讓開由他出去某一出大門放下鍋就跑回家去了

又一人正在別間屋裏頭另想出新法趁差人扭住客人時就在桌上取了一項差人脫下的帽向腦袋上一戴隨手拿了一鞭子也隨著一同連打帶罵一時人多雜亂辨不出是誰差人也以爲是同來的夥伴鬧了一回子喘吁々的向外走作尋歇狀一出門也跑了

又庚子年洋兵進城有一某國兵走進某民人家只有一婦人在內某國兵心起不良婦人點頭作應允狀又自指身上穢汚作將去洗淨狀兵大喜婦人回身即走入厠內把穢物塗滿衣上又出迎兵臭不可近兵一見徐搖手令遠避婦人因此得免然也就可憐了

●雪詩　有人做雪詩道。一片一片又一片。一片兩片三四片。五片六片七八片。末末了一句接不上了。一人代接道。飛入芦花都不見。又有一醫生詠雪道。昨晚北方寒。天公大吐痰。一輪紅日上。便是化痰丸。這兩首詠雪白話詩。眞是詼諧有趣極了。

## NEWCHWANG, FRIDAY, FEB. 2, 1906.

### THE HAND OF DIVINE PROVIDENCE (PART XXVII).

These good kind souls will sob themselves to distraction at the prospect of Iago's torture. What is more, they may forget that it is a mere play, and, carried away by the spur of the moment, may make a dash on the stage, to effect the release of the condemned prisoner!

Next thing they will do will be to batter down the bars of all insane asylums to emancipate the raving inmates from restraint. They must prize the freedom of the wild-eyed maniacs above the peace and order of society. The irresponsible unfortunates may reduce towns to ashes. They may wound or slay innocents right and left. Still their liberty cannot be tampered with. Can such be the idea of those journalists? How can it be otherwise? 400,000 Russians and 200,000 Japanese have been killed or crippled for life by the late war. And their widows, orphans, and bereaved parents! 3,000,000,000 roubles at a very moder te estimate, and 2,000,000,000 yen have gone up in smoke and powder. How much besides has been lost by the interference of the war with international trade and general progress, with the miseries the whole Manchuria has suffered from into the bargain! If the impotent China had known how to defend her rights in Manchuria and could have guarded her independence, if the decomposing Korea, already struck down by the awful Destroyer, had lain under custody, as she ought to have, the Japan-Russia War would never have broken out. China and Korea abused their autonomy which neither was worthy of. The abuse of autonomy in unworthy hands was responsible for all those woes and losses.

China is now in good earnest to set her country in order. The spirit is highly praise worthy and deserves every encouragement from all her well-wishers. The renewed Anglo-Japanese Alliance stands guarantee for her territorial integrity. The United States has also come forward strongly outspoken in China's favour on this vital question of hers. The three Powers will see that no more mean advantage be taken of China, inimically to this question. They have virtually undertaken to keep land-grabbers off China's ground, that she may be able to push on unmolested her task of internal re-organization. It behooves China to go about remodelling her administrative system on the basis of good common sense, without haste, without rest, but with the tenacity of honest purpose, till her labour is completed. If she should only know enough, as is to be earnestly hoped, to tell true friends from false ones, and to pick up her steps clear of well-concealed snares, she will get there safe. So it stands as far as China is concerned. God has not yet forsaken China. He has not destroyed her, as He has Korea. He holds out hope for her. She may yet earn good health, strength, and independence.

However, it is practically over with Korea. The wages of her sin was an unmourned death. The work of the denationalization of the Koreans was thorough. The national decomposition has long set in. The swarm of parasitic worms calling themselves Korean officials have been lost to every moral sense of their nationality. Those creeping parasites have blotted with their stinking filth what you call the last chapter of Korean history between the two Wars. No human conception could ever make head or tail out of those blurred pages, upon which not a link of rational thought harmonizing with the nobler sentiments in man that divides him from the lower animal world, is to be discovered. Truly enough, all the cunning duplicity of Iago underlies beneath every indecipherable line. It is the cunning born of the baser instincts—that of the vicious viper which stings unawares to kill a friend or no friend. This only makes the odium, if possible, more insupportable. Does not irresponsibility hiding the fatal venom mark every soiled trace on the blank, besmeared pages of Korea's last chapter, made in the name of the independent Korean Empire, by the aimless trailings of those foul wrigglers bred out of national decay?

What on earth are those foreign advocates of "Korean Propaganda" driving at anyhow? What God has destroyed, they, mortal men however great, certainly cannot revive. Yet, dare they ever think themselves capable of such a miracle of all miracles? The irreverent profanity of the very idea! The public will do well to forthwith inquire into their sanity.

## 營口旅館料理店案内（いろは順）

- 旅館 **第一營口ホテル** 元神廟街九十六號
- 旅館 **第二營口ホテル** 河岸通り
- 料理 **第三樓** 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛
- 料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎
- 旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉
- 料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎
- 旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程
- 料理 **沖の島** 永世街十八號 店主 中川彌三郎
- 料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好
- 旅館 **竹村館** 永世街二十二號（電話五一） 店主 廝田久二
- 旅館 **彌生館** 永世街百六十七號
- 料理 **やよひ** 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎
- 料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一
- 料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助
- 御料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松
- 料理旅館 **醉花園 澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉
- 旅館 **大和館** 永世街六號 店主 前田九一郎

- 旅館料理 **金城ホテル** 永世街百六十六號 **第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤宮次郎
- 旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
- 營口軍政署御用旅館 **東雲** 主任 谷口今朝太郎
- さるそば **第一更科** 營口元神廟街 さるそば **第二更科** 永世街鶴の湯角
- 和洋御料理 東京一流 かき飯 **第二東京館** 元神廟街 店主 松田平四郎
- 洋和料理 本店 **松月亭** 營口元神廟街一四三号
- 和洋料理 御旅館 支店 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一一七号

## 遼陽旅館料理屋案内

- 旅館料理業 **日營ホテル支店** 主任 井上源吉
- 御料理會席 **菊水館** 主任 朝枝團摠
- 旅館西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉
- 旅館料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基
- 御料理會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟
- 御料理 色々應御注文 **凱旋亭** 主任 古谷庄太郎
- 旅館御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉
- 遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

**爲替相場**（二月一日）
上海は百圓に付六十七兩二錢五分
天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢

**日本品最近物價表** 加藤洋行調査

| | | |
|---|---|---|
| 菊正宗 樽物類 | 三斗九升入 | 銀二十圓 |
| 櫻正宗 | 四斗四升入 | 同十七圓 |
| 白鹿 [illegible] | [illegible] | 同 [illegible] |
| 鮪 | 四打入 | 同十三圓 |
| ラッキヨ | 五打 | 同十四圓五十錢 |
| 辛子漬 | 四打 | 同九圓五十錢 |
| フキ 仝 | | 同八圓 |
| 鷲ミルク | 仝 | 同十八圓 |
| 石炭 一上等塊炭 | 一噸ニ付 | 銀十八圓 |

（飯塚工程局）

---

- 會席 **玉家** 主任 西野治三郎
- 御料理會席 **來々亭** 主任 石田清

料理 鋤焼 **喜樂亭** 營口元神廟街 亭主 元權兵衛

**諸鐵工製作**
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街シップ商會東
**喜川鐵工場**

發賣 料木 標子 木板
**塩川商會**
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峰吉
遼陽小西門內 **鹽川商會**（電話一三六番）

建築用材
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本餘
外に北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

弊店儀雜貨專業之處今度營業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 **森屋洋行**
大連大山通り二丁目 **仝支店**
遼陽西門外 代理店 **林洋行**
奉天小西門外 代理店 **米田洋行**

---

御旅館 天津 **芙蓉館** 駐屯軍御用 並西洋料理（電話四十一番）

北京 **扶桑旅館** 東單牌樓大街路西 客室清潔料理鮮新

上海（電話一〇六番） 御旅館 **豊陽館** 日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乘船取扱 館主米田藤吉

---

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin.
General Store-keeper & Commission merchant.

銘酒 **菊正宗** 新着!!
祝新年 の營内分 營口明覽年定價にて差上ます
雜貨商 **加藤洋行**（營口電話八十番）
本店 天津日本租界
支店 營口 北京
出張所 遼陽 大阪

**飯塚工程局材料部** 營口元神廟前（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

**雜貨** 醬油 味噌 清酒
營口西北街 **阪神組**
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干塩魚 ○石灰
**喜久洋行** 永世街八十號（電話百五十二番）

**倉庫業**
倉庫位置
營口綏定門街（公和害）院内
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余 商船會社碼頭筋向イ 河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置
**新玉號倉庫部**（電話一五七號）

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy. 80 cts. per month.

**本紙定價**
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙